

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	兵庫県立千種高等学校	研究グループ名
	教頭 原田 尚昭	(「千種学」教材開発研究会)

研究テーマ分類番号 (2 1)

(1)研究テーマ
「千種」の豊かな自然や歴史に学び、「ふるさと」を再発見する。 ～「千の種」となる子らを育てる、保幼小中高一貫の「ふるさと」学習～
(2)研究経過及び具体的な取組
6月上旬「学校周辺の文化財から千種の歴史を学ぶ」 対象：中学3年生39名 内容：学校周辺の「河呂大森遺跡(弥生)」、戦国時代の宇野氏にまつわる「お塚さん」、「農村歌舞伎舞台」を実地調査し、千種の豊かな歴史と文化財について学んだ。(講師は地元有志)
6月中旬「伝統芸能チャンチャコ踊り」 対象：中学3年生39名 内容：宍粟市内で今も地域の子どもたちや保存会によって伝承されている「チャンチャコ踊り」のルーツと社会的・文化的意義について学んだ。(講師は地元有志)
7月中旬「中高連携間伐体験学習」 対象：中学3年生・高校2、3年生計55名 内容：森林環境と森林産業における間伐の意義を理解し、間伐作業見学と作業体験を通して、森林産業への関心を高め、郷土愛を育むことができた。(講師は地元森林組合の方々)
8月中旬「小学生茶道体験とホタルについての学習」 対象：小学3～6年生28名 内容：高校茶道部員のお点前による抹茶を味わうことで日本の伝統文化を体験し、地元で見られるゲンジボタルやヒメボタルについて学ぶ機会を持った。(講師は高校茶道部員及び教師)
9月中旬「千種川水生生物調査」 対象：高校生有志(参加は12名) 内容：ライオンズクラブ主催で実施された千種川一斉調査のうち千種町内6か所を担当し、水質・水温及び棲息昆虫等の調査を行い、地元の環境に対する理解を深めた。(講師は本校教諭)
10月上旬「手漉き和紙づくり体験」 対象：中学2年生22名 内容：千種でかつて盛んであった手漉き和紙づくりの歴史と技術を地元の和紙職人の方から学び、千種が育んだ文化に触れる機会とした。(講師は地元の手漉き和紙職人ご夫婦)
10月中旬「たたら製鉄実習」 対象：中学2年生22名 場所：天見屋たたら公園 内容：古来より地元で行われてきた「たたら製鉄法」を昔の製鉄所跡で実地に学び、たたら製鉄に関する歴史学習を通して、先人の知恵を学んだ。(講師は「宍粟鉄を保存する会」の方々)
11月上旬「保幼小中高合同ふれあい文化祭」 対象：町内のすべての子ども・生徒 内容：町内にそれぞれ1校ずつという利点を生かし、すべての年齢層の子どもによる文化祭を行い、伝統芸能・合唱・合奏・劇等の発表を通して多くのことを学び合った。(本年度4回目)
11月中旬「千種の植生」 対象：中学2年生22名 内容：千種町は恵まれた自然環境の中で、豊かな植生を形成している。千種の山々と千種川周辺の植生について学び、郷土の自然を大切に育てる機会とした。(講師は地元有志の方)
11月中旬「千種の伝統芸能(獅子舞)」 対象：中学2年生22名 内容：千種に現存する伝統芸能である獅子舞の歴史的意義を学び、保存に尽力する地元住民の願いを理解し、地域の文化を継承する意欲を高める機会とした。(講師は地元獅子舞保存会の方)
11月下旬「千種の伝統芸能(千種太鼓)発表」 対象：高校1年生6名 内容：高校1年生アクティブコースの生徒たちが、授業「アクティブ」の中で地元の和太鼓を学び、近隣の養護施設に赴いて演奏を行った。(講師は地元和太鼓サークルの方)